



経尿道的水蒸気治療 (WAVE治療)

泌尿器科

高瀬 育和



前立腺肥大症は、前立腺の内腺が腫大して尿道を圧迫することなどにより、排尿困難を始めとするさまざまな症状を呈する疾患です。高齢化社会とともに今後も増加する疾患と考えられています。

治療に関しては、まずα1ブロッカーに代表される内服治療が行われます。しかし、排尿困難等の排尿症状の改善が乏しい場合には手術療法が推奨されます。

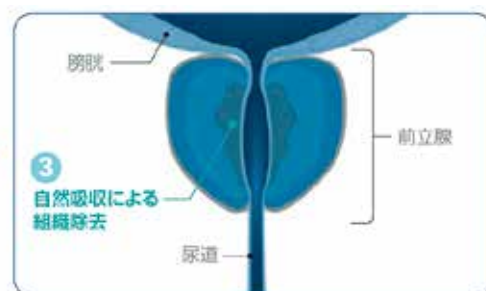
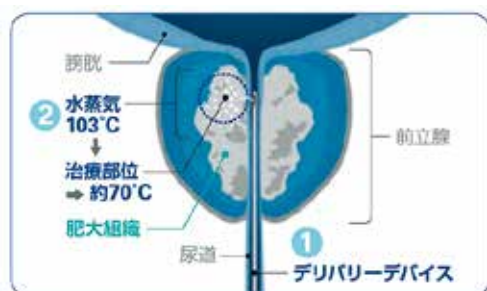
前立腺肥大症の手術に関して、当院では経尿道的な前立腺切除術をこれまで行っていましたが、2024年より新しい治療法である経尿道的な水蒸気治療 (WAVE治療) を導入しました。

WAVE治療とは、水蒸気の熱 (103℃) を利用して前立腺組織を壊死させ、自然吸収により組織を退縮させることで、前立腺部尿道の閉

塞を軽減する手術です。WAVE治療の大きな特徴は、従来の手術と比較して低侵襲であることです。そのため、合併症リスクが高い症例にも適した治療法と考えられます。

これまで、当科では24症例に対してWAVE治療を施行しました。手術時間は平均16分と短く、出血量は少量でした。また、排尿症状は有意に改善し、残尿量が著明に減少するなど、高い治療効果が得られています。

当科では、患者さんの状態に合わせて最適な治療法を選択して、より良い治療を行ってきたいと考えています。



CT(コンピュータ断層撮影)装置を更新しました

当院では、2024年12月にGE社製の最新CT装置「Revolution Ascend Elite (レボリューション アセンド エリート)」に更新しました。この装置は2024年4月に販売開始され、主な特徴として①ディープラーニングを用いたAI画像再構成技術、②AI技術を駆使した次世代ワークフロー、③新たな画像再構成法である「True Enhance DL」を搭載したCT装置です。

①AI画像再構成法「True Fidelity DL」により、解像度やコントラストの高い画像を再構成でき、画像診断における読影負担が軽減するとともに診断精度の向上も期待でき、疾患の早期発見や患者さんの状態をより詳細に評価することが可能になります。

また、従来の装置より少ない放射線量で良好な画像が得られるため、患者さんの被ばく線量を低減できます。

②AI技術と3Dカメラにより、装置が患者さんの体位・体厚を立体的に認識し、最適な高さに加え検査目的の撮影開始位置まで自動でポジショニングできます。最適な線量及び再現性の高い検査が可能となり、患者さんの身体的負担や検査時間の軽減に寄与するだけでなく、患者さんの腕等が装置に接触することを未然に検知し、医療安全の面でも寄与します。

③新たな画像再構成法「True Enhance DL」を用いることで、少ない造影剤で造影効果の高い画像を再構成することが可能となり、腎臓の機能が低下した患者さんの負担軽減が期待できます。

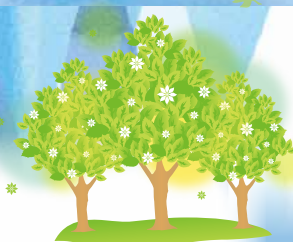
当院は、地域医療支援病院として紹介患者さんに対する医療提供および医療機器等の共同利用を通じて、第一線の地域医療を担う「かかりつけ医」を支援し、病診連携体制の確保を図る病院として相応しい構造設備等を整備していきます。今後も医療ニーズに即した機器を導入し、最新の技術を活用し地域医療に貢献したいと考えています。

ふれあい地域医療センター（電話422-1114）に受診予約いただくことにより、最新のCT装置をご活用いただくことができますので、ぜひご利用ください。



GE HealthCare Revolution Ascend Elite

研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

日 時：3月11日（火）19：00～20：00 場 所：当院3階 講堂

1）症例検討

『糖尿病を基礎疾患にもつMRSA右下肢壊死性筋膜炎の1例』 整形外科 岡本 駿郎

2）ミニレクチャー

『子宮動脈塞栓術について』

放射線診断科 長岡 将太郎

子宮筋腫は性成熟期女性の20-30%に認められ、過多月経や月経困難症、圧迫症状などの原因となります。有症性子宮筋腫の治療にはホルモン療法、子宮全摘術や筋腫核出術といった外科的治療がありますが、近年子宮動脈塞栓術（uterine artery embolization：UAE）も安全で有効な治療法として確立されてきています。

UAEは局所麻酔下でカテーテルを鼠径部から血管内へ挿入し、子宮動脈に塞栓物質を注入します。子宮筋腫の血流を低下させることで筋腫の縮小や症状の改善が得られます。一般にUAEの技術的成功は90%以上の症例で得られ、症状の改善率も70-80%程度と報告されています。これは筋腫核出術

と同程度と言われています。合併症も少なく、創部が小さいため早期退院が可能であり、特に仕事や家事などで多忙な患者にとってメリットが大きいと考えられます。

一方で、血管再開通や側副路による筋腫の再増大も見られ、10-20%で外科的治療が必要になったという報告もあります。

UAEはホルモン療法で制御困難な患者や審美的、時間的余裕から外科的治療を希望しない患者などにとって有用な治療法です。UAE適応の判断を含めて積極的に当院産婦人科にご紹介いただけますと幸いです。

予告 日 時：令和7年4月8日（火） 19：00～ ハイブリッド開催
場 所：当院3階 講堂
内 容：①症例検討 1例（担当）内分泌内科
②ミニレクチャー 1題（担当）耳鼻咽喉科



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

2. 看護研修 ※諸事情により研修が変更になる場合があります。

《新任看護職員研修》

当院では令和7年度採用の新人看護職員に対し、新任看護研修を実施いたします。地域の医療機関や施設に入職される看護職員の方に関しても当院職員と共に研修を受けていただければと考え、下記の通り計画いたしました。ご参加を希望される場合は、事前の申し込みが必要となりますので、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。（TEL：076-422-1112 内線2009）

【参加に関するお願い】

※募集は1研修につき5名程度としますので、1施設からの参加は1名程度とさせていただきます。

※院内では、マスクの着用をお願いいたします。服装は、白衣または動きやすい服装でお越しください。

※資料等の準備がありますので、必ず各研修開催日の1週間前までにお申し込みください。

体調不良時は無理をせず、欠席してください。その場合は、必ずご連絡ください。

※受付は、各研修の開始10分前までに済ませてください。

※駐車場は外来患者さんが利用されますので、研修にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

技術研修の内容と日時

場所：3階 講堂

No	内 容	開 催 日	時 間	研修形式
1	安全確保の技術（医療安全）	4月2日（水）	9：30～11：50	講義
2①	静脈注射研修プログラム（医療安全、薬剤、感染）	4月2日（水）	12：50～15：45	講義 eラーニング
2②	静脈注射研修プログラム （皮内・皮下・静脈注射、ルート確保）	4月3日（木）	8：30～10：30	講義 eラーニング
2③	静脈注射研修プログラム （ポート針、輸液ポンプの取り扱い）	4月3日（木）	10：40～11：45	eラーニング
3	与薬 静脈内注射 点滴静脈注射 採血	4月3日（木）	13：00～17：15	演習
4	与薬援助技術 経口薬の投与 麻薬製剤について 皮下注射 中心静脈内注射 輸血 誤薬防止の手順等	4月10日（木）	13：30～16：40	演習
5	感染防止の技術	4月4日（金）	8：30～12：10	講義・演習
6	食事援助技術	4月11日（金）	13：30～15：00	講義・演習
7	活動・休息援助技術	4月15日（火）	13：30～15：00	講義・演習
8	輸液ポンプの準備と管理（ME）	4月18日（金）	13：30～16：30	講義・演習
9	排泄援助技術	4月14日（月）	13：30～15：00	講義・演習
10	呼吸管理研修（基礎編）	6月13日（金）	13：30～17：15	講義・演習
11	救急蘇生法	7月16日（水）	13：30～17：15	講義・演習



研修医のひとりごと

研修医 大森 崇雅



初めまして、研修医の大森と申します。当院における2年の研修期間を振り返りながらこの文章を構想していると、その濃密さと時間の流れの速さを実感しました。1年目の4月と5月、国家試験で培った知識だけの自分がまず向き合ったのは、実臨床や救急現場で要求される知識のアウトプットとその速度と正確さ、更には上司や皆様とのコミュニケーション方法でした。私は己の力が余りに無力な事を知り、まずは一つ上の先輩方の様に立派になる努力を日々行うことにしました。また、直ぐに意外と近くにも尊敬できる他職種の方々が沢山いる事に気づきました。

その方々と意見を交わす事で、本当に多くの知識や

技術を学べ、振り返った今、自分の成長を実感する事ができました。

この中で私は様々な患者様と疾患に触れることができ、特に高齢化社会における地域医療の課題について考えさせられました。それは、医師や医療資源の限界、交通手段が救急車しか無い医療連携の難しさです。これらを考えた経験を活かし、より良い医療と患者様との寄り添う姿勢を提供できる様に尽力してまいります。

最後に当院で私を支えて下さった方々と、私の拙い医療行為を快諾して下さいった患者様にこの場を借りて深くお礼申し上げます。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

3月

科 名	医師名	不 在 日	科 名	医師名	不 在 日
内 科	桶 家	5日	整形外科・関節再建外科	重 本	7日、31日
	山 田和	12日	産 婦 人 科	谷	31日
	浅 野	25日	麻 酔 科	松 浦	12日
外 科	佐々木	14日		本 田	28日
	名 倉	26日、27日	呼吸器・血管外科	湖 東	7日、19日
精 神 科	長谷川雄	12日、14日		明 元	18日
形 成 外 科	宮 下松	24日、25日、26日	小 児 科	中 里	31日
	稲 垣洸	5日、6日、7日	眼 科	山 田芳	21日
皮 膚 科	野 村佳	17日、24日、25日		村 上	3日
	東	31日	歯 科 口 腔 外 科	寺 島	6日、7日、12日、13日、21~31日
	服 部	28日		朽 名	28日
脳 神 経 外 科	毛 利	7日		石 坂	3日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

昨年4月にふれあい地域医療センターに異動となり、周りの方々に助けていただき頑張っております。慣れない職務に落ち込むことがありますが、そんな時の心の復活は、趣味の没頭です。私の趣味は「推し活」ですが、その他に16年前に始めた弓道も大きなやりがいのある趣味の一つです。腕前はさて置き、あの「スン」とした空気、頭が真っ白になる緊張感に心が洗われます。そして、老若男女交えてお稽古できる環境が素敵です。特に、人生の先輩である高齢の方の道場での凛とした姿を見ると素敵で憧れてしまいます。私もそのような素敵な姿になれるよう日々精進したいと思っています。ご興味のある方、是非弓道場に見学に来てください。



ふれあい地域医療センター 浦田 千賀子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

